

レッドフラッグを活用した通信指令員のスキル向上ワークショップ

～通信指令員版 救急脳の作り方～

●事前学習なしでもわかる内容です。奮ってご参加ください。

内容：講師はこれまでにレッドフラッグ(見逃してはいけない疾患を示唆する症状や所見)を活用した救急救命士向けの臨床推論ワークショップを展開してきた。今回は通信指令員として、傷病者からの聴取でまず聴取すべき内容を特訓する。119番通報として複数の事例を用意し、通信指令員と伝達を受ける救急救命士、両方の役割を体験しながら、レッドフラッグへの理解を深めるワークショップです。

対象：通信指令員、救急隊員、救急救命士、指導救命士

所要時間：60分間 **定員：**30名 *同内容で2回実施予定

13:00-14:00、15:00-16:00(変更になりました) 事前申し込み制。先着順。

当日空席があれば参加可能です。当日、見学も少数受け付ける予定です。

講師：望月礼子(鹿児島大学 救急・集中治療医学分野 非常勤講師)

アドバイザー：救急救命士 数人

テキスト：

望月礼子. 救急隊版エマージェンシー臨床推論2 もっと救急脳の作り方.

東京法令出版、2024年 (p32ページまで参照。AI読み上げ機能付きの本です)

申し込みリンク： <https://forms.gle/abzBTwkY6XMB1AEx7>

